

## 令和6年度 アイ・サポート相談会

### 養護教諭の皆様へ

### ～ 学校でこんな児童生徒はいませんか？ ～

- ・教科書やタブレットに極端に目を近づけて見ている。
- ・定規や分度器の目盛りが見えづらそうだ。
- ・段差につまずいてよく転ぶ。
- ・頭やおでこをよくぶつける。
- ・ボールや落とした消しゴムをよく見失ってしまう。
- ・眼疾患の診断があり、眼鏡をかけているが視力が低い。
- ・色覚特性（色覚異常）があり、黒板などが見づらそう。
- ・眼球が揺れていることがあります、見えづらそう。

（自覚症状はなかなかありません。）

左右の目の視力差が大きかったり、幼少の頃に弱視の診断のため眼鏡をかけていたりすることで、今も見えづらさで学習や学校生活で不便をきたしている児童生徒がいるかもしれません。

そのほか視力だけでなく、視野、色覚、学校生活の様子で、見え方が気になる児童生徒がありましたら、ぜひアイ・サポート相談会をご紹介ください。お話を聞きながら、さまざまな学習や生活上の工夫等をお伝えいたします。

なお、アイ・サポート相談会は、事前に申し込みが必要です。

案内のチラシは、小中学校にはメールにて配布しております。また、山形盲学校のホームページからもダウンロードいただけます。

【お問い合わせは下記まで】

山形県立山形盲学校・視覚支援センター

TEL 023-672-4116（代）